

「第 3 回 道新みんなで考える防災展」で スノーダクト漏水事故防止を啓発

～講演や啓発チラシの配布を通じて漏水事故への備え等を呼びかけ～

日本損害保険協会北海道支部(委員長：河村 周・損害保険ジャパン株式会社 執行役員)は、9 月 5 日(土)から 6 日(日)にかけて株式会社北海道新聞社が主催した「第 3 回 道新みんなで考える防災展」において、スノーダクトの漏水事故に関する講演を実施しました。

北海道新聞社では、2024 年 8 月から道民の防災意識向上および被害の軽減を目的として、紙面企画やイベントを通じた「北海道防災推進プロジェクト」を展開しており、本イベントはその一環として開催されたものです。

当日は晴山 紋根氏(気象予報士・防災士)および枝野 幸男氏(元内閣官房長官・弁護士)による特別講演のほか、各団体によるセミナー、災害に関する記事や写真の展示、レスキューロボットの操作体験コーナー、企業・団体によるブース出展等、様々なプログラムが実施されました。

当支部は両日とも、「突然の雨漏りで大損害!?スノーダクトのつまりを防ぐ簡単予防ガイド」をテーマに、午前 10 時から 45 分間の講演を実施しました。

スノーダクトは、屋根に積もった雪が融けた際の水を排出するための溝のことで、無落雪屋根の代表的な形式の一つです。スノーダクトや縦樋に落ち葉やゴミが詰まると、雨水や融雪水が円滑に排水されず、漏水事故が発生するおそれがあります。一方で、自然災害や交通事故等とは異なり、スノーダクトの漏水事故は定期的な点検や清掃によってゴミを取り除くことで、発生確率を低減することができます。

講演では、スノーダクトの構造や漏水事故の発生要因、日常的な点検・清掃の重要性等について説明するとともに、当支部が作成したスノーダクト漏水事故防止啓発チラシ 2,000 部を来場者へ配布しました。また、株式会社損害保険ジャパンの出展ブースにおいて当支部が作成した防災に関するチラシを設置し、来場者への啓発を行いました。

当支部では今後も関係団体と連携し、スノーダクトの漏水事故防止をはじめ、防災・減災に資する啓発活動を積極的に推進してまいります。



河村委員長による講演の様子



山口事務局長による講演の様子